

報道関係者の皆様へ

塩害環境下でも耐久性を実証 ANTARIS SOLAR モジュール、塩スプレー腐食テストに合格

ANTARIS SOLAR の AS M 単結晶モジュールは、ベルリンの太陽電池研究所 (PI) の塩スプレーテストで、非常に塩分の多い野外条件下でのテストに耐え抜きました。このテストで、ANTARIS SOLAR のモジュールが大気に塩分が多く、雨も強い海岸地区での設置に特に適していることが実証されました。

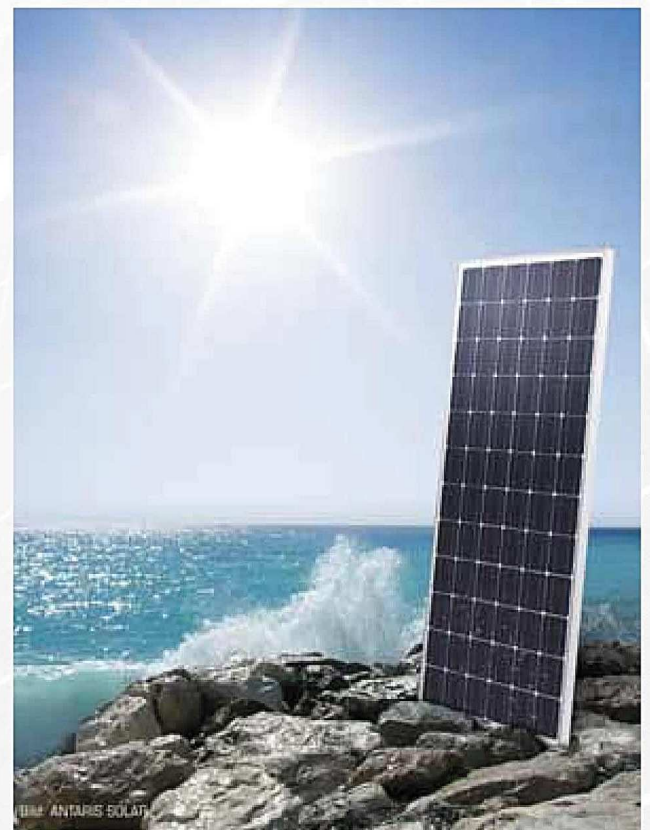
ドイツ、ヴァルダシャフ / 東京。太陽電池システムは常に腐食の危機にさらされており、これが性能に悪影響を及ぼしかねません。海岸地区では降雨量、塩分が平均を上回ることが多く、この危機がとりわけ大きくなります。

そこで ANTARIS SOLAR ではベルリンの太陽電池研究所 (PI) に委託し、ANTARIS SOLAR の AS M シリーズ単結晶モジュールを DIN EN 60068-2-52 に準拠した塩スプレー腐食テストに供しました。

テストは7日間かけて行われました。この間、モジュールには塩分濃度が 5.0g/l のスプレーが4回、1回当たり2時間噴霧されました。その後モジュールは湿度 93 パーセント、温度 40°C の湿った部屋に収納。最後にモジュールは 23°C の部屋で3日間の乾燥処理を経ました。この DIN テストは、数年間にわたる通常の屋根上設置運転を実験室で模倣するものです。

このテストサイクル完了後、ANTARIS SOLAR のモジュールは材質への損傷と発電性能に関してチェックされました。検査の結果、モジュール構造には何ら損傷はなく、性能にも悪影響は出ていないことが確認されました。テストに供した ANTARIS SOLAR の AS M モジュールは極度の塩水と湿度にさらされた後でも、目に見える損傷や、発電能力への影響はありませんでした。

ANTARIS SOLAR の最高経営責任者であるミヒャエル・ギョーデ博士は次のように語っています。「弊社のモジュールが多様で困難な条件下でも長寿命を保証できるよう、弊社では極端な環境を模倣する条件下でのテストを繰り返しています。最近ではモジュールのアンモニア耐性をテストし、これに合格しました。今回塩スプレー腐食テストにも合格したことで、海岸地区など特に塩害の厳しい条件下にも弊社モジュールの設置をお勧めできます」



ANTARIS SOLAR の AS M モジュールは塩分の強い条件下でもきわめて耐久性が高く、海岸地区での設置に最適です。